

2022 年度日本アイアンガーヨガ協会

第 17 回総会（通常総会）議事録

【日時】 2022 年 7 月 28 日（木）7：30～ 8：36

【形式】 zoom を使用したオンラインでの総会

【参加者】 理事：水谷、浦野、高橋、浅野、上山、南免羅、山本、黒澤、監査：矢野

【欠席者】 理事：埜村（敬称略）

1. **開会**：会則 12 条 1 項により理事長 水谷が議長を務める。
会則 19 条 11 項により、総務 黒澤が議事録を作成する。

2. 定足数の確認：黒澤

議決権のある会員数 指導員会員 134 名 一般会員 206 名 合計 340 名

総会表決者数 165 名 総会参加者数 9 名

委任状受け取り総数 24 通 有効委任状数 22 通 無効委任状数 2 通

有効委任状の代理人内訳（敬称略）

浦野諭佳子 1 票、黒澤恵三子 1 票、小暮エレナ 3 票、埜村晃代 2 票、中西久美 6 票、

ビンダハニ純子 1 票、松本泰子 3 票、議長 5 票

以上により、会則 19 条 7 項の規定を満たし総会は成立。

会場に集まって質疑応答を行うことができなかつたため、会員からいただいたご意見について総会で話し合った内容を理事会の回答として記載する。

3. 第 1 号議案

前年度（2021 年度）第 16 回総会（通常総会）議事録の承認

承認：163 人、否認：0 人 よって承認可決。

【意見 1】 承認：インドの RIMYI からのオンラインクラスですが、リアルタイム参加出来ず後日録画配信を振り返る形になる事が多く、数日間に渡るクラスの録画配信期間が 1 週間程度ですと、日々仕事をしている者としては短すぎると感じます。せめて 2 週間配信していただけると助かります。

【回答】 RIMYI のクラスは二週間録画配信しています。ご確認いただき練習にお役立てください。当協会主催の 9 期で予定しているアビジャータ先生の WS はいただきましたご意見を考慮し、2 週間視聴できるよう検討します。

【意見 2】 承認：（第 16 回議事録の意見 5）のコンテンツに魅力がない・について。コンテンツに魅力がないから会員が退会する・には意義あり。アイアンガーヨガを学ぶ目的であれば、必要な情報が掲載されていれば問題なし。新しいホームページは見やすいが探し難い。

【回答】 HP が閲覧しやすくなるよう努めて参ります。よく探すものを絞り、より見やすくなるよう改善に努めて参ります。

4. 第 2 号議案 前年度活動について（報告）

5. 第 3 号議案

今年度活動計画について

承認：163 人、否認：0 人 よって承認可決。

【意見】 承認：第 2 号議案の中の【9 期へ引き継いだ課題 ②附録書 D の制定について⇒引き続き検討 ③会則の変更について⇒整備していく】と記録されていますが、第 3 号議案の活動計画では何も触れていません。具体的に何か検討されていますか？それとも何か予定されていますか？

【回答】 附録書 D については、過去の資料、有識者の方のご意見、海外での取り扱いを参考にしながら、日本の実情にあった形をこれから理事会で協議していきたいと思えます。

会則の変更については、過去の資料から会則を日本側で勝手に変更することが出来ない事が判明したため、オンラインにそった運営については今総会の第 7 議案であげているように、ガイドラインで会員の皆様にご意見を伺いながら進行していこうと考えております。

6. 第 4 号議案

会計報告①前年度（2021 年度）収支報告 ②監査報告 ③今年度（2022 年度）の予算案

① 前年度（2021 年度）

承認：162 人、否認：1 人 よって承認可決。

② 監査報告

承認：161人、否認：2人 よって承認可決。

【質問】 承認： 監査報告の中で、「～翻訳本を出版するために必要なことが明確になり～今後
に活かしていける～」と書かれていましたが、総会用の資料には書かれていませんでしたので
「8、9期合同理事会の議事録」で確認しました。「ロイヤリティーの問題で～翻訳者が引き続
き発行できるよう対処中。」と記録されています。「royalty」の問題があるのは分かりますが、
「翻訳者が引き続き～対処中」は何を意味しているのでしょうか。「活かしていく。」ならばもう
少し説明を希望します。

【回答】 翻訳者が出版してくれる出版社をさがす。ということの意味しています。
ギタジーが存命の時はギタジーから許可のみでの翻訳も可能でしたが、現在は著作権をもつ出
版社とRIMYIの許可と著作権料の支払いが必要なことがわかりました。今までは個人で翻訳し
コピーして配布してもokでしたが、コピーにも許可と著作権料の支払いが必要になったことが
明確化しました。このことを踏まえて今後の活動に活かしていきます。

③ 今年度予算案

承認：161人、否認：2人 よって承認可決。

【意見1】 承認：リムイの先生のオンラインワークショップをもっと開催して欲しいです。

【回答】 10月に開催いたしますので是非ご参加下さい。さらに今後も会員の皆さまが学べる
機会を増やすべく努めて参ります。

【意見2】 承認：今年度予算案では、hp保守料がこれまでの3倍以上に増額されていますが、
その理由や明細を記載すべきではないでしょうか。

【回答】 就任後、それぞれの担当が実務をこなしていく中で生じた問題点をHPを利用する事
で改善可能かどうか、また、今後実現していきたい事などをHPの外注先と話し合いを重ね、最
初の1年で実行できる事を精査、契約書を取り交わし、その結果、多岐にわたる仕事内容から
も、この値段が妥当と判断いたしました。明細に関しては予算案に明記しておりますので、そ
らをご参照ください。

7. 第5号議案

『指導員会員』または『一般会員』で情報提供を郵送で希望する場合について

承認：150人、否認：13人 よって承認可決。

【意見1】 否認：メールアドレスを持っていても、携帯だけであれば文章を読むのは困難と考える。

【回答】 まず最初に、WEBでの書面表決のタイトルが「郵送希望会員廃止について」となっていたため、皆様に多大なご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。正しくはサイト上に添付しておりましたPDFのタイトル「今後の方針」になります。

現在メールマガジンでお届けしている内容はホームページやSNSでも公開しております。最新の情報をご覧いただくという意味では、そういったツールも今後はご検討頂き、是非ご活用頂きたいと考えております。もし携帯やガラケーの文字が小さくて見えないという理由でしたら、その方の指導員の方や同じ教室の会員の方にご協力頂き、PCでの閲覧もしくはプリントアウトしていただくことで、理事の業務軽減にご協力いただけると幸いです。

【意見2】 否認：pcのメールアドレスをお持ちでない方には、廃止されてしまうと厳しいかと思えます。

【回答】 PC、及び携帯電話をお持ちでない方には、引き続き郵送対応いたします。現在、郵送希望の会員の方には、メールアドレスを一切登録されてない方もいらっしゃるが、携帯のアドレスを登録されている方、PCのアドレスで登録されている方がいらっしゃり、それぞれ郵送を希望されている理由が異なると推測されるのですが、本当の理由はわかっておりません。移行をお願いするにもその理由をお聞きしなくては、その方によっては無理難題をお願いする事になると理解しております。

ご指摘のように、PCのメールアドレスをお持ちでない方(=PCをお持ちでない方)及び、携帯電話をお持ちでない方に、移行をお願いする事は難しいかと思われますので、今期では今まで通りの対応を続けていく予定ではありますが、まずは当該会員の方とコミュニケーションを取りながら、より良い方法を探していきたいと考えております。

【意見3】 否認：私自身はペーパーレス化に何ら問題もなく、紙排出量削減のためペーパーレス化はよし、と考えています。しかしながら、電子データの閲覧が出来ない環境・状態の方は、まだ数年はいらっしゃる時代ではないでしょうか。指導員ならまだしも、一般会員の全員に強要するのは如何かと思えます。(閲覧できない→コロナで教室の横のつながり希薄→情報入ってこない→会員の意味がない→退会という可能性もあります)

また、「指導員、或いは同じ教室の方がサポート」とありますが、責務を押し付けていると感じます。会費を徴収してるのは協会です。協会自体が何らかの歩み寄りが必要だと思います。

(例：会報は白黒コピーを郵送、会員のデジタルネイティブ率が半数を超えた時点で一斉切り替え等) ご再考お願い申し上げます。

【回答】 現在の郵送希望の会員の方には前回の総会で決定したように、今年度から、総会関連と理事選挙関連に係る内容のみを郵送する事になっており、WSなどの情報提供は行っておりませんので、既にHPが閲覧できない方は情報入手が難しい状況であると存じます。心苦しくはありますが、コロナ禍が続くことでオンラインセッションも定着し、情報提供の量は増える一方で、全ての会員の方の環境に合わせた対応ができる組織力が、今の協会にはございません。もちろん、携帯やPCをお持ちでない方には限られた情報ではございますが、今期では今後も郵送対応いたします。ただ、メールアドレスをお持ちでPCをお使いになれる方には、移行をお願いしたい次第です。私たち理事は、皆、仕事を持っていて、なんとか時間を捻出し理事の仕事(歴代の理事の方々と同じく)ボランティアで行っております。そこをご理解いただきたく存じます。

「責務を押し付けている」と感じられたことは、こちらの意図を伝えることができず、残念に思います。私たち理事ができることとして(議案書に記しているように)ご希望があればZoomにてHPの情報収集の仕方などをレクチャーする会などを設ける計画はございますが、と同時に顔見知りの方に対面でレクチャーしていただけると、安心度が高いのではないかと推測しました。お互い出来る事で誰かを助けるという心をお持ちいただくのは、難しいでしょうか? ご理解いただけると幸いです。

8. 第6号議案

『海外ティーチャートラックオンラインワークショップを日本で開催する際のガイドライン』
制定について

承認：160人、否認：3人 よって承認可決。

【意見】 否認：ワークショップを開催するにあたって協会に報告し、協会から会員に通知してもらうのは大変良いことだと思いますが、「理事会から承認を得る」必要は無いのでは? これだと、理事会が会員に対して権力を持っているような印象を受けます。アイアンガーヨガの先生を招くのですから、変な先生は絶対にいませんし、招くタイミングも他のワークショップと重なってしまったら、それはしょうがないことなので、理事会が承認を与えたり与えなかったりして、ワークショップをコントロールするのは民主主義的でないように思われます。「報告」だけにして「承認を得る」と言うのはやめていただくようお願いいたします。

【回答】「ワークショップを開催するにあたり、理事の承認を得る。」には、会員、非会員の皆様に平等な情報をお伝えする事が目的となっております。理事では否定的ではなく肯定的に承認しております。権力を持っている、とのイメージを持たれている事、とても残念に思います。

【質問】 承認：新しいガイダンス作成ありがとうございます。

海外のガイドラインに準じてほぼ同じように作られてるという理解で良いでしょうか？

【回答】 こちらのガイドラインは 2017 年の第 12 回通常総会で制定された「海外ティーチャーを日本に招聘する際のガイドライン」とそれに関する過去の資料を参考にし、協会員全員が均等に学べる機会を得られること念頭に、オンラインにあった形で作成いたしました。海外のガイドラインのことは存じ上げず、今後の参考のために、海外とは具体的にどの国になるのかをご質問をくださった会員の方にお尋ねしたところ「何か世界のアイアンガーヨガ協会全体で使用されているガイダンスに基づいて作成されているなどの情報があればと思いご質問させていただきました。」とご返信をいただきましたので、上記の返答とさせていただきます。

9. その他の意見（承認・否認はなし）

【意見 1】 これからアセスメントのやり方が以前と全然変わりますが、プネの本部がこのような措置を取ったのは、アセスメントが公平に、また受験者が緊張することなく、おだやかな雰囲気の中で受験できるように、との配慮からです。日本のアセスメントも、むやみに厳しいだけのアセスメントではなく、また受験者が使った言葉を、上げ足を取るように非難するのではなく、なごやかな雰囲気の中で受験者が彼等の本来の教え方を自由に表せるよう、真に正当なアセスメントにしてください。

【回答】 頂戴したご意見は指導員養成委員会へ申し伝えました。今期理事の中に今回のアセスメント受験者がおり「アセッサー、ウィルビーアセッサーの方々が作ってくださった和やかな雰囲気の中でアセスメントで、これからの活動に為になるフィードバックをいただいた。」と感想を申しておりました。これからも更に良いアセスメントになるように、私たち理事は受験生をできる限りサポートし、受験生の心が和むような場所の提供を精一杯準備させていただきます。

【意見 2】 アセスメントを行う為の協会の様な気がします。申し訳ありません。各先生方が、個々に、オンラインワークショップを開くのではなく、協会主催のワークショップを増やして頂きたいと思えます。協会員である利点を余り感じられません。何卒、ご検討の程、宜しくお願い致します。

【回答】 協会の目的の一つが、アイアンガーヨガの教をを広めることです。そのために認定指導員を増やしていくのは協会の大きな役割ということをご理解いただきたく存じます。また、協会員の方向けの協会主催のワークショップ開催の準備もすすめております。情報は会員、非会員に関わらず平等にお伝えできるよう HP に記載しメールや SNS 等で発信して参ります。

【意見3】 理事の皆様 日頃より協会運営業務にご尽力いただきありがとうございます。9期スタートされてまだ4ヶ月足らずなのに、色々と改善工夫されていて有り難く思います。今回の Google フォームについても各議案に PDF が添付されていて、大変回答しやすかったです。細部にまで心配りをありがとうございました。

【回答】 今回は9期の取組みのうちの一つである HP 機能を駆使し WEB 投票を HP 外注先と連携をとり作成しました。今までは各理事が個人的に Google フォームを作成し、多大な労力をかけていたと伺いましたが、外部取引先の専門家と連携することで今後の円滑な運営につながる 第一歩になったとおもいます。工夫が必要な課題も見えたので、引き続き HP 外注先と連携し改善し、次世代に繋がるよう努めてまいります。なお、現在は WEB 上での決済に関して外注先と進めております。

【意見4】 簡略化の為に文中の「～」で前略、中略、後略としました。細かくて申し訳ありませんが、文書が複数枚の際はページナンバーを記入していただきたいと思います。記載場所を探す、示す際にナンバーがあれば便利だと思います。

【回答】 文章作成について、ご提案下さりありがとうございます。以後頁ナンバーを付け閲覧しやすいよう改善いたします。

【意見5】 いつもとりまとめなど活動ありがとうございます。ワークショップなど録画で後から観れると嬉しいです。また私のような初心者はインドの先生のワークショップではハイレベルについていけないことが多くいつも 1人でオンラインから参加するのをためらい、勇気が入ります。地域ごとにオンラインを映しながらサテライト開催をしていただいたり、この教室ではサテライトをしますとホームページで呼びかけていただくとか、後日、解説を兼ねた補講レッスンとか企画いただけるとより充実したオンラインになる、またはアイアンガーヨガの普及にもつながるのではないかと思います。

【回答】 とても良いアイデアをありがとうございます。現状すぐの対応は出来かねますので、一先ずご自身の先生にご相談されるのも、アイアンガーヨガ全体が盛り上がるきっかけになるように思います。実際、先生の教室で皆さんで、受講されている方々もいますので、ご参考にし

ていただけたらと思います。又一度に、理解しようとするのではなく、その時の自分が受け取れるものだけを受け取って復習するという練習方法もあると思います。

【意見6】 海外在住のため、なにかとご不便をおかけして申し訳ありません。そしてありがとうございます。ニューズレターやオンライン WS など、日本語で日本の皆さんと学ぶ機会を持つことができ、大変嬉しく思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【回答】 嬉しいご意見をありがとうございます。

日本国内、外に関係なく平等に情報をお伝えするのが協会の役目だと思っております。こちらこそ、これからも宜しくお願い致します。

【意見7】

①アイアンガーヨガ翻訳本 についての要望と疑問

”A Gem for Women”の日本語翻訳本の発刊において、ギータ・アイアンガー先生の教えが日本語で読めることは、学びが深まり実践を続けていく上で利便性がよい。また、これからアイアンガーヨガを学んでいく人には、ギータ・アイアンガー先生の素晴らしさを認知することができ、とても素晴らしいことです。

その一方で、指導者としての視点として思うことは、”A Gem for Women” は、ギータ先生が長年、実践・研究されてきた専門性の高い内容であり、bks アイアンガー先生の”Light on Yoga”, ”Light on Pranayama”, “ ”Light on Life”, に並ぶアイアンガーヨガの教えの根幹となる哲学であり専門書です。

アイアンガーヨガの伝統を正しく訳することができるのは、ギータ先生から直に学ばれた先生たちや、実践と研究を続けている先生たちが担当されることが適任でしょう。

フランス、ベルギーのアイアンガーヨガ認定指導者からのリサーチで、アイアンガーヨガの専門書は、実践者が数人で手分けして翻訳し検証して慎重に翻訳本を仕上げている為、数年を要するとのこと。何人もの先生たちが関わると時間がかかるかもしれませんが、伝統を「正しく」伝えるためにはそうすべきだと思います。

通常、専門書は、医学の分野、哲学の分野、など専門性の高いものほどその筋の専門の翻訳者が担当します。

よって、今回の”A Gem for Women”の日本語翻訳本は、その翻訳者が適任なのか審議されたのか疑問が残ります。

疑問に残る点として、

・翻訳者が、アイアンガーヨガのどんな実績の方なのか不明である、ということ。ギータ先生の教えを直に受けてきた先生か？または、長きに渡り、認定指導員から”A Gem for Women”の内容の教えを受けて研究している人なのか？

・アイアンガーヨガの伝統を継承し「正しく」伝えていくには実践・研究し続けている認定指導者が適任です。日本アイアンガー協会は、今回の日本語翻訳本について慎重に審議した上で人選されたのか？

アイアンガーヨガの伝統と専門性を日本人によりよく正しく広めるために、現代の情報のスピード化にあわせる必要はあるのでしょうか？

専門性の高いものは情報を手っ取り早く手に入れるこの追求でなく「正しく」伝えることが重要であり、実践・研究し続けていくための導きとして正しい情報の専門書であるべきだと思います。

今後、翻訳本を作成する際には、アイアンガーヨガの伝統と知恵を考慮し慎重に翻訳、数人の熟練者が関わり審議されるべきだと思います。

②今後のアイアンガーヨガ翻訳本についての提案

●クラウドファンディングで翻訳本を出版

アシュタンガ・ヨガのコミュニティーからの事例です。アシュタンガヨガ実践書の日本語翻訳本の出版のため、事前に希望者を募るためアンケートをとり、クラウドファンディングを設立。その後、多くの希望者からの出資金（投資金）から早い段階で目標金額を達成することができ、最終的に出版社に頼ることなくコミュニティーで日本語翻訳本を出版することに至り、ヨガコミュニティーが盛り上がり、出来上がった翻訳本をもとに実践を深められた。

このような事例から、アシュタンガヨガのコミュニティーと比べアイアンガーヨガ協会は人数も多いことから、今後将来、翻訳本を企画する際にはクラウドファンディングすることは前向きなアイデアだと思います。

一人一人が出資することで目標にコミットする（責任を持って積極的に関わること）ことは、アイアンガーヨガ協会のメンバーの士気を高め、健全に信頼関係が築かれるようにコミュニティーの強化にもなっていくと思います。

③協会は開かれたアイアンガーヨガのソーシャルコミュニティであってほしい

日本においてアイアンガーヨガの実践者の層は以前より増えている様に思えるが、まだまだアイアンガーヨガを知らない人やクラスに行っていない、など海外に比べると日本のアイアンガーヨガ人口は少ない方だと思います。

アイアンガーヨガは正しくしっかりと自己に向き合う実践を重視するように、練習を深めたい人や、身体的に制限がある人、など専門性の高いヨガのため一般の人たちには広まりにくいかもしれません。一方で、アイアンガーヨガを長年学び愛好者も多い。また、認定指導者でない人がアイアンガーヨガを誇示して教えている指導者も実在します。

よりよくアイアンガーヨガを広めるためには、認定指導者がアイアンガーヨガを「正しく」伝えることが大前提で、その上でヨガの普及活動を積極的に行っていかななくてはならない。発信し

ていく認定指導者たちのモチベーションが続くように、公正に平等に情報が共有され開かれた健全なコミュニティとしての協会の存在が不可欠だと思います。

④アイアンガーヨガのコミュニティを充実していくための提案

●アイアンガーヨガ協会のヨガ道具の販売

アイアンガーヨガの練習をしたいが道具はどこで入手すればよいか？と生徒から聞かれることがよくある。練習する上で道具を揃えるのに個々に仕入れたり、情報を調べたりと道具を入手するのに時間がかかる。

その手間と不便さをなくすために「アイアンガーヨガの道具は全てここで揃う！」という具合にアイアンガーヨガ協会のオリジナルのヨガ道具をソーシャルメディアで販売することを提案したい。

アイアンガーヨガの愛好者が増えコミュニティが盛り上がる。そして、将来的に商品の売上は協会の活動費として予算に補填することができる。"

【回答】 長文の貴重なご意見ありがとうございます。以下タイトルに沿ってお答えいたします。

①アイアンガーヨガ翻訳本 についての要望と疑問

科学も長い時間の研究の結果、ある理論が出来上がるように、アイアンガーヨガの本を出版するうえでも、実践・研究が必要であります。

今後、日本語版を出版する際は、アイアンガーヨガの伝統を重んじ、慎重に審議し、進めていくようにします。後の世代の理事にも共有していきます。

協会会員それぞれが、そういう思いで居れるような、コミュニティになれるような活動を考えていきたいと思えます。

②今後のアイアンガーヨガ翻訳本についての提案

ありがたいご提案です。こういったアイデアも検討してまいります。

③協会は開かれたアイアンガーヨガのソーシャルコミュニティであってほしい

アイアンガーヨガを適切に広めていくことが大事だと思います。実践の仕方、哲学、様々な高い知識を要するアイアンガーヨガは、理解が容易でない部分があります。そこは大事な部分で、混ぜてはいけないという観点からも、協会会員に対しては、慎重かつ開かれた健全な協会づくりに努めます。

④アイアンガーヨガのコミュニティを充実していくための提案

貴重なご意見を、ありがとうございます。バンテージやチュンバルなど、入手困難なものもありますので、今のところ販売の予定はありませんが、今後検討いたします。

＜前記のご意見の他に、下記のような、ねぎらいやお礼のお言葉等も頂戴いただき、私たち 9 期のメンバーも大変励みになり、とても嬉しく感じております。ありがとうございます。＞

● コロナ禍で急激に変化した情勢に合わせて、HP 構成などを外部取引先の積極活用は大いに進めていただきたいと思います。コミュニケーションを取りやすい HP による広報活動促進につながると思います。理事の業務負担軽減が進み、円滑な協会運営につながることを願います。

● アビジャータ先生の WS の開催のご準備、ありがとうございます。

● 9 期の皆様、協会運営にいろいろ尽くしてくださりありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

● ありがとうございます

● いつも大変お世話になっております。この度は、ご丁寧にも有難うございました。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

● お世話になります。第 8 期の理事の方々、お疲れ様でした m(_ _)m
前例のないコロナ禍での協会の運営は大変だったと思います。ホント、感謝致します。ありがとうございます。第 9 期の理事の方々、よろしくお願いします。

● お忙しいなかでの理事会運営ありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

● 今までに経験のないコロナ禍での協会運営、ありがとうございます。
議案の資料はとてもわかりやすくまとめられていると感じました。
理事の方々の負担が少しでも減るように、進めていってほしいと思います。

● 理事活動、お忙しい中をありがとうございます。